

9月18日開催

7月2日・申12号

4項目まで終了

## 「新幹線乗務員基地再編の概要について」に関する説明申し入れ第1回団体交渉を行う!

**交渉委員(分会選出)から以下の点を強く主張する**

東京新幹線運輸区(仮称)発足まで、あと半年にも関わらず会社から具体的な説明がない。職場はジョブローテーションの異動もあり、毎日不安の中乗務をしている。安全輸送に大きく影響を与えている。

**全ての労働者の“いのち、と”雇用、を守る考えに踏まえ、労使の共通認識を大前提とすべきである!**

- 会社は既に、東京新幹線運輸区(仮称)の工事に着手していることから要員規模等を決定して行われており、運転士・車掌の要員体制、行路数、職場規模、職場レイアウト等を示すこと。
- **いつ示すのか?**
- **それでは遅い!**
- **直ちに再度の説明会及び自己申告書とは別の面談を実施して、丁寧に行うこと。**
- 安全・サービスレベルを向上するためにも東京新幹線運輸区(仮称)の発足にあたっては、全方面の担当を可能とし異常時対応を含め新幹線部門の拠点として位置付けていくこと。
- 東京新幹線運輸区(仮称)の発足にあたっては、準備室の設置の考え方はあるのか。
- **異動の不安が多く出ており、職場雰囲気も悪くなっている。具体的な要等の考えを早く示かこと、そして説明責任を果たすべきだ!**
- 異動にかかる面談は通常の自己申告書でのやり取りとなるのか。

**強く指摘!!**

組  
合  
主  
な  
議  
論  
会  
社

- ダイヤ設定がまだ決まっていないため、要員規模、行路数、波動数、レイアウトなどは検討中である。また波動数については、運休が多かったことも含め、一昨年なども含めて検討している。
- **昨年度実績を踏まえると12月下旬頃には示せると考えている。**
- 東京新幹線運輸区(仮称)は扇の要としての認識を持っている。
- 事前に準備室に要員を配置するなどの考えはない。
- **現場の声は承った。できる限り早い段階で示して行けように努めていく。**
- 現時点、秋の面談で希望等の把握をしていく考えである。

**「安全」で「安心」できる労働環境の実現と  
 新幹線部門の安全・サービスレベルの向上をつくり出すために、  
 本部交渉団は、精力的に交渉に臨みます!**



誰一人不幸にさせない!組合員の雇用と生命を守る!  
 鉄道業の社会的使命・責務を果たし、未来に継承する  
 “ポストコロナ政策”を JTSU-E に結集し、実現しよう!

労働組合



No one will be left behind